

持続可能な未来都市・浜松へ

課題解決の糸口探る

国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みを進めるため、浜松市の団体や個人でつくる連携の場「市SDGs推進プラットフォーム」を設立した市は二十七日午後一時半から、活動の第一弾のイベント「SDGs未来都市・浜松パートナーシップシンポジウム」を中区のアクトシティ浜松で開く。(大城愛)

アクトで27日シンポ

SDGsは、貧困や性別の不平等をなくし、地球環境を守るための十七の目標を挙げており、各分野での協力が必要になる。

当日は金沢工業大の平本督太郎SDGs推進センター長を招いた講演がある。静岡文化芸術大や浜松いわた信用金庫の参加メンバーによるパネル討論会と交流会も予定している。メンバーは交流と情報交換を通じて地域連携を強め、課題解決の糸口を探る。八月一日現在、計九十の企業や団体、個人が参加しており、市の担当者は「目標達成に向けて、新たな視点を開拓するきっかけになれば」と話す。

申し込みは二十日まで。氏名、電話番号、参加人数を記入しFAX＝050(3730)1807または電子メール＝ikaku@city.hamamatsu.hizuoka.jp。④企画課＝053(457)2241



掲示板に「SDGs」とかたどった文字と、ポスターを張ってPRする市職員＝浜松市役所で

2019.8.17

中日新聞(朝刊)P.16